



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カインス

コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上地史朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 黒谷理

TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成27年11月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,577	△5.3	214	23.7	223	31.2	156	47.6
27年3月期第2四半期	2,720	△2.1	173	24.7	170	25.3	106	19.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	35.96	—
27年3月期第2四半期	23.87	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	5,749	3,214	55.9	768.97
27年3月期	6,216	3,283	52.8	737.80

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 3,214百万円 27年3月期 3,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期配当金の内訳 普通配当7円50銭 記念配当5円00銭(創業40周年記念配当)

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	△3.2	410	2.1	413	5.2	280	21.6	65.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	4,558,860 株	27年3月期	4,558,860 株
28年3月期2Q	378,527 株	27年3月期	108,016 株
28年3月期2Q	4,360,589 株	27年3月期2Q	4,451,163 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
	（1） 経営成績に関する説明 .....	1
	（2） 財政状態に関する説明 .....	2
	（3） 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2	サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
	（1） 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
	（2） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3	継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4	四半期財務諸表 .....	4
	（1） 四半期貸借対照表 .....	4
	（2） 四半期損益計算書 .....	5
	（3） 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
	（4） 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
	（継続企業の前提に関する注記） .....	7
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） .....	7
	（セグメント情報等） .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期累計期間における国内経済は、前事業年度に引き続き税制改正と金融緩和等により企業収益や雇用環境は、緩やかな回復基調を示しております。一方、海外では、欧州や新興国経済の財政懸念問題等の状況は、依然として継続しており、予断を許さない不透明な状況にあります。

臨床検査薬業界におきましても、医療保険制度改革や市場での価格競争等により引き続き厳しい状況は継続しております。

このような環境の下、当第 2 四半期累計期間の売上高につきましては、25 億 7 千 7 百万円（前年同期比 5.3%減）となりました。

検査分野別で見ると、生化学検査分野におきましては、腎機能検査試薬及び糖尿病検査試薬が堅調に推移したことにより 8 億 6 千 8 百万円（前年同期比 3.8%増）となりました。

免疫検査分野におきましては、主にアレルギー検査試薬が競合品との競争激化による影響を受けて減少したことにより 15 億 1 千 2 百万円（前年同期比 8.9%減）となりました。

また、その他の分野におきましては、主に機器の売上が減少したことにより 1 億 9 千 6 百万円（前年同期比 12.3%減）となりました。

この結果、営業利益につきましては、2 億 1 千 4 百万円（前年同期比 23.7%増）、経常利益につきましては、2 億 2 千 3 百万円（前年同期比 31.2%増）となり、四半期純利益につきましては、1 億 5 千 6 百万円（前年同期比 47.6%増）となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第 2 四半期累計期間 〔自平成26年4月1日 至平成26年9月30日〕		当第 2 四半期累計期間 〔自平成27年4月1日 至平成27年9月30日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	788,653	29.0	821,834	31.9
	免疫血清学的検査用試薬	382,327	14.1	435,017	16.9
	そ の 他	219,190	8.1	189,137	7.3
	計	1,390,172	51.1	1,445,989	56.1
商 品	生化学的検査用試薬	48,044	1.8	46,961	1.8
	免疫血清学的検査用試薬	1,277,779	47.0	1,077,285	41.8
	そ の 他	4,656	0.2	7,224	0.3
	計	1,330,480	48.9	1,131,471	43.9
合 計	生化学的検査用試薬	836,697	30.8	868,796	33.7
	免疫血清学的検査用試薬	1,660,106	61.0	1,512,302	58.7
	そ の 他	223,847	8.2	196,361	7.6
	計	2,720,652	100.0	2,577,460	100.0

(注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第 2 四半期会計期間末における総資産の額は、57 億 4 千 9 百万円となり、前事業年度末と比べ 4 億 6 千 6 百万円の減少となりました。流動資産は 27 億 2 千 8 百万円となり、前事業年度末と比べ 3 億 1 千 3 百万円の減少となりました。その主な要因は、商品及び製品をはじめとした棚卸資産が 4 千 1 百万円増加したものの、自己株式の取得等により、現金及び預金が 2 億 3 千 6 百万円、受取手形及び売掛金が 1 億 2 百万円減少したことによります。固定資産は 30 億 2 千 1 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 億 5 千 2 百万円の減少となりました。その主な要因は、製造設備などを中心に 2 千 6 百万円の設備投資を行った一方で、差入保証金 1 億円の回収による減少、減価償却費 7 千万円を計上したことによるものです。

当第 2 四半期会計期間末における負債の額は、25 億 3 千 5 百万円となり、前事業年度末と比べ 3 億 9 千 7 百万円の減少となりました。その主な要因は、賞与引当金が 3 千 6 百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が 1 億 7 千 4 百万円、未払法人税等が 3 千 8 百万円、未払金をはじめとしたその他が 2 億 2 千 4 百万円それぞれ減少したことなどによります。

当第 2 四半期会計期間末における純資産の額は、32 億 1 千 4 百万円となり、前事業年度末と比べ 6 千 9 百万円の減少となりました。その主な要因は、四半期純利益 1 億 5 千 6 百万円を計上した一方で、配当金の支払い 5 千 5 百万円及び自己株式の取得 1 億 6 千 1 百万円を行ったことなどによります。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第 2 四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、7 億 6 千 9 百万円となり、前事業年度末と比べ 2 億 3 千 6 百万円の減少になりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、1 億 2 千 3 百万円の増加(前年同期は 1 億 6 千万円の増加)となりました。その主な増加要因は、仕入債務の減少 1 億 7 千 3 百万円、法人税等の支払額 9 千 6 百万円、棚卸資産の増加 4 千 1 百万円などの支出により減少したものの、その一方で、税引前四半期純利益 2 億 2 千 1 百万円、売上債権の減少 1 億 2 百万円、減価償却費 7 千万円などによります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、1 億 4 千 5 百万円の支出(前年同期は 1 千万円の支出)となりました。その主な支出要因は、有形固定資産の取得 1 億 4 千 5 百万円などによります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、2 億 1 千 5 百万円の支出(前年同期は 4 千 9 百万円の支出)となりました。その主な支出要因は、配当金の支払い 5 千 5 百万円、自己株式の取得 1 億 6 千 1 百万円などによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の国内経済は、前事業年度に引き続き金融緩和等の経済政策効果により緩やかに改善していくものと思われませんが、欧州や新興国の財政懸念問題等による為替相場をはじめとした影響も懸念されており、依然、予断を許さない状況にあります。

当社は、当期の業績目標の達成に向け積極的な営業活動を展開してまいりましたが、過年度から減少傾向を示しております免疫検査分野のアレルギー検査試薬の売上が競合品との競争激化による影響を受けており、更に輸血検査分野における機器の設置も当初の計画どおりに伸展しない等の理由から平成 27 年 5 月 8 日付、当社「平成 27 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」でお知らせした平成 28 年 3 月期通期業績の予想を下回る見込みとなりました。

この結果、売上高は、前回予想の 58 億円に対して 53 億円となる見込みです。

また、製造原価の低減をはじめとした経費効率の改善及び節減等の対策効果により、営業利益では、前回予想 4 億 2 千 8 百万円に対して 4 億 1 千万円、経常利益では、前回予想 4 億 3 千 7 百万円に対して 4 億 1 千 3 百万円、当期純利益では、前回予想 2 億 8 千 8 百万円に対して 2 億 8 千万円と微減となる見込みです。

今後におきましても、生化学検査分野では、腎機能及び肝機能項目等、免疫検査分野では、輸血検査試薬等の積極的な拡販を図るとともに、新製品の開発に努めてまいります。

なお、平成 28 年 3 月期の配当予想につきましては、平成 27 年 5 月 8 日公表のとおり変更ありません。

( 通 期 )

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,800	百万円 428	百万円 437	百万円 288	円 銭 64.71
今回修正予想 (B)	5,300	410	413	280	65.57
増減額 (B) - (A)	▲500	▲18	▲24	▲8	—
増減率 (%)	▲8.6	▲4.2	▲5.5	▲2.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期通期)	5,476	401	392	230	51.73

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

#### 4. 四半期財務諸表

##### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,346,687	1,109,704
受取手形及び売掛金	1,171,555	1,068,758
商品及び製品	220,391	239,456
仕掛品	60,231	58,526
原材料及び貯蔵品	134,319	158,243
その他	111,455	96,217
貸倒引当金	△2,900	△2,900
流動資産合計	3,041,740	2,728,006
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	715,086	708,134
土地	1,851,453	1,851,453
その他(純額)	258,478	225,201
有形固定資産合計	2,825,018	2,784,788
無形固定資産	31,085	27,809
投資その他の資産	318,483	209,046
固定資産合計	3,174,587	3,021,644
資産合計	6,216,327	5,749,651
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	829,409	655,293
短期借入金	960,000	875,000
未払法人税等	109,410	71,202
賞与引当金	118,123	154,600
その他	521,246	296,433
流動負債合計	2,538,189	2,052,529
固定負債		
長期借入金	300,000	400,000
その他	94,320	82,586
固定負債合計	394,320	482,586
負債合計	2,932,509	2,535,116
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	1,578,154	1,679,334
自己株式	△90,708	△251,731
株主資本合計	3,247,593	3,187,750
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,224	26,784
評価・換算差額等合計	36,224	26,784
純資産合計	3,283,818	3,214,535
負債純資産合計	6,216,327	5,749,651

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,720,652	2,577,460
売上原価	1,741,906	1,540,590
売上総利益	978,746	1,036,870
販売費及び一般管理費	805,243	822,209
営業利益	173,503	214,661
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,944	3,483
為替差益	929	12,669
その他	1,994	2,264
営業外収益合計	6,868	18,416
営業外費用		
支払利息	7,731	6,891
手形売却損	461	334
その他	1,551	1,958
営業外費用合計	9,745	9,184
経常利益	170,626	223,892
特別損失		
固定資産除却損	7,111	2,729
特別損失合計	7,111	2,729
税引前四半期純利益	163,515	221,163
法人税、住民税及び事業税	52,983	58,147
法人税等調整額	4,300	6,200
法人税等合計	57,283	64,347
四半期純利益	106,231	156,815



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	163,515	221,163
減価償却費	64,174	70,193
売上債権の増減額 (△は増加)	288,755	102,797
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△48,508	△41,284
仕入債務の増減額 (△は減少)	△230,673	△173,954
その他	△5,448	44,150
小計	231,813	223,064
利息及び配当金の受取額	3,910	3,857
利息の支払額	△8,361	△7,199
法人税等の支払額	△66,908	△96,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	160,454	123,089
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,356	△145,547
無形固定資産の取得による支出	△5,163	△864
その他	611	693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,908	△145,718
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	15,000
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△200,000
配当金の支払額	△33,467	△55,715
自己株式の取得による支出	—	△161,022
その他	△16,252	△13,820
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,720	△215,559
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	1,205
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	99,831	△236,982
現金及び現金同等物の期首残高	823,079	1,006,687
現金及び現金同等物の四半期末残高	922,910	769,704

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。